

2023年度

科目名称	保育内容総論 (U1組)
授業コード	BM203A
英語名称	Introduction to Preschool Curriculum 1
学期	2023年度前期
単位	1.0
担当教員	渡辺 令子 (教育人間科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の特性，保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園での遊びや生活の意義について，保育の5領域の保育内容とねらいの観点を総合的に理解する。 ・社会や子どもを取り巻く状況の変化をふまえながら，乳幼児の遊びや生活を通じた学びを支える保育者の役割を理解する。 ・授業は講義とアクティブ・ラーニング(ワーク・グループワーク・ディスカッション)を取り入れ，自主的に考え，学び，実践的活動に繋げていけるようにする。
科目に関連する実務経験と授業への活用	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の保育現場での保育者及び保育行政における専門職としての知識・経験を生かし，理論と経験を融合した授業を展開する。
到達目標	<p>幼児保育学科がディプロマ・ポリシーに掲げる「乳幼児の心や成長に関する知識や技能を体系的に理解するとともに，子どもに関する情報を分析し，乳幼児の育ちに即した教育・保育について，根拠をもち説明」することができることを主眼とする。そのために以下の目標を達成するように指導する。</p> <p>(1) 保育と保育内容の関連について知り，自らの保育観や子ども観を身につける。</p> <p>(2) 保育所保育指針，幼稚園教育要領，幼保連携型認定こども園教育・保育要領の保育内容を理解し，保育内容5領域を総合的に捉えることができる。</p> <p>(3) 子どもの発達を知り，観察・理解する力を養い，保育における計画・実践・記録・省察・改善の意義を理解する。</p> <p>(4) 多様化する保育ニーズを知り，ふさわしい保育内容を自ら考えられる力を身につける。</p>
計画・内容	<p>第1回 オリエンテーション・保育内容はじめの一步</p> <p>第2回 保育所保育指針，幼稚園教育要領，幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育内容の捉え方</p> <p>第3回 子どもの理解と評価の考え方</p> <p>第4回 指導計画の作成の理解</p> <p>第5回 遊びや生活を通して学ぶということ</p> <p>第6回 養護と教育が一体的に展開する保育</p> <p>第7回 子どもの主体性を尊重する保育</p> <p>第8回 環境を通して行う保育</p> <p>第9回 グループワーク 「子どもの主体性を尊重する保育環境～私たちが考える保育環境」</p> <p>第10回 グループワーク 「 のグループワークの発表」</p> <p>第11回 グループワーク 「グループワークの振り返り」</p> <p>第12回 個と集団の育ちを支える保育</p> <p>第13回 小学校への接続をふまえた保育 保育の多様な展開</p>

2023年度

計画・内容	第14回 家庭や地域との連携をふまえた保育 第15回 講義・主体的学びのまとめ
授業の進め方	実際の保育現場等の映像を教材に取り入れながら，講義とワーク・グループワーク・ディスカッション・発表を中心とした授業を展開する
能動的な学びの実施	・毎回の授業では教科書の写真や実際の保育現場等の映像から，学生自身が感じたり，考えたり，想像したり，互いに話し合ったりしながら理解を深めていく。 ・グループワークでは，実際の保育環境を検討し，「私たちが考える保育環境」の発表を行う。
授業時間外の学修	・各授業においては，予習として次回の授業内容に関する教科書及び配布資料を通読しておくこと。（30分程度） ・教科書や授業で配布された資料と関連付けて自分の講義ノートを整理事務すること。（30分程度）
教科書・参考書	教科書 渡邊英則・大豆生田啓友 編著「新しい保育講座 保育内容総論」ミネルヴァ書房 2020年 参考書 厚生労働省「保育所保育指針」,文部科学省「幼稚園教育要領」,内閣府・厚生労働省・文部科学省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」
成績評価方法と基準	試験（40%）+ レポート（40%）+ 授業中のワーク（20%）
課題等に対するフィードバック	・授業の毎回のワークについては，その授業内においてフィードバックする。 ・レポートについては，コメントを付与して返却する。 ・学生の発表やグループワークの発表については，その都度コメントを行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	・保育士資格取得のための必修科目であるから履修すること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	zoomによるオンライン授業及び，CampusSquareを活用した課題学修とする。 試験（40%）+ レポート（40%）+ 授業中のワーク（20%）